

小川一成県議2期目へスタート

県の新玄関口・守谷のまちづくりのために
県と町のかけ橋役に全力を尽くします。

昨年12月の県議員選挙におきましてはみなさまの熱いご支援をいただき、2期目の当選をさせていただきました。特に、今回の選挙からは守谷町だけの単独選挙区になり、私は守谷町の有権者の方々からの信任を得て再選したことに大きな誇りを感じています。

県政を光と陰という視点から見ますと、この県南地方はどち



らかと言いますと陰の部分に入っていました。4年前、私が県議員選挙に立候補した大きな動機の一つは「県政の顔を県南に向けさせ、このエアポケットをまずは埋める」と言うことでした。そして、この4年間で県運転免許試験場での受付時間の延長や、県南地区のパスポート申請件数の増加に伴う旅券窓口の設置を要望し、取手市役所内に新設させることができました。これらの業績が住民の方々に評価されたものと思います。

2期目において私に課せられた役割は、県全体の視線で議会活動をするのは勿論のことですが、「この県南地区が県の中でどのような存在感たりうるか」ということを見極めて、1期目より更に足を踏み込んで県南地区の存在感を高めることです。

特に、守谷町においては常磐新線開通とそれに伴う町施行の守谷駅周辺地区の区画整理事業など大きなプロジェクトがあります。これらを町単独で行うことは町財政に大きな負担となります。この事業の完遂のためには県の協力が不可欠です。人口300万人になろうとしている茨城県の新しい玄関口となる守谷のまちづくりのため、県と町の架け橋に全力を尽くす事も私に課せられた大切な仕事の一つです。どうぞこれからも暖かいご支援を宜しくお願い申し上げます。(小川一成)



新県庁舎落成、移転へ



新県庁舎が落成し、茨城県の新名所が誕生しました。旧庁舎は水戸市の中心にありましたが、新庁舎は国道五十号バイパスより少し入った郊外にあり、常磐道水戸インターチェンジより車で約十五分のところに建設されました。

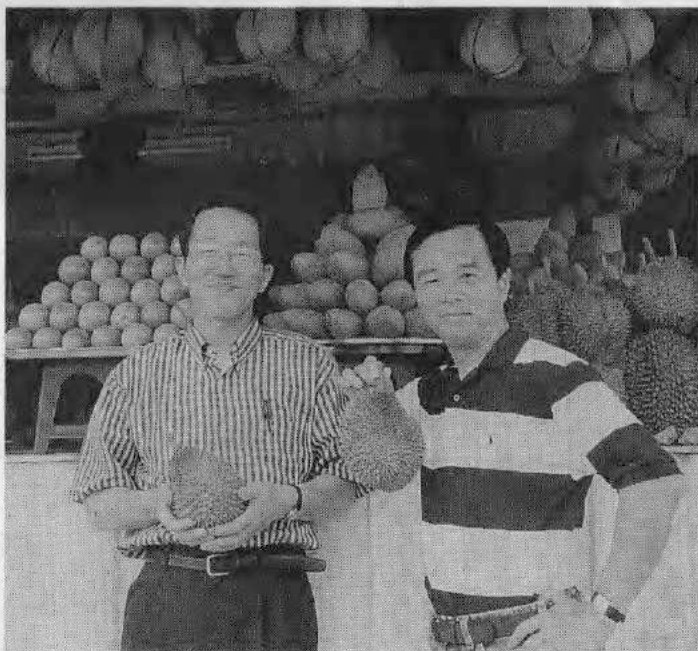
新しい県庁舎は行政庁舎、議会庁舎、警察庁舎、福利厚生棟の四棟からなり、行政庁舎は二十五階建てで、県下一の高さを誇る建物になりました。最上階二十五階は展望ロビーとなっており、はるか筑波山をはっきりと望むことができます。引越は三月下旬から行われ、三月二十七、二十八日の二日間には一般公開を実施、開庁してから現在までに約十二万人の方々が見学に訪れているそうです。皆さんも一度足を伸ばして見学されてはいかがでしょうか。

ベトナム訪問記

ベトナムと言うと私たちの世代にとって思い浮かぶことは、ベトナム戦争の悲惨さではないでしょうか。開放後は社会主義国家としての道を歩んできましたが、私たち日本人にとって意外と現在のベトナムについて知らない人が多いのではないのでしょうか。



満載した果物を運ぶメコン川の船



果物の王様ドリアンを手にとり、白井県議と小川県議

私と結城市選出の白井八郎県議は三月十一日から四月六日までメコンデルタを中心にベトナムの視察をしてきました。現在のベトナムは社会主義国家にもかかわらず、ドイモイ政策と言われる市場原理に基づいた刷新政策をとり、安定した成長を遂げています。

メコン川では、生活物資を満載した船が往來するというおなじみの風景が見られました。が、そこには戦争の暗い影がみえませんでした。また、町は経済復興のエネルギーに溢れており、若い人々の明るい顔が印象的でした。

先日、ベトナムの首相が日本を訪れた際、日本はベトナムに対して数億ドルの援助を決めました。両国の関係は今後ますます深くなりそうです。(小川一成)

小川一成県議の 第一回定例県議会での質問趣旨

選挙後、初めて行われた第一回定例県議会でも小川県議がトッポを切って一般質問を行いました。以下はその趣旨です。

●県政運営について(橋本県知事に対して)

◇今後の財政運営について

◇公共事業の再評価について

●アーカス構想パイロット事業について(橋本県知事に対して)

●常磐新線について(高田企画部長に対して)

◇常磐新線利根川橋梁の整備について

◇守谷町周辺整備の進捗と町への財政支援について

●コンピュータ二〇〇〇年問題について(高田企画部長に対して)

●県立医療大学の役割について(牛尾衛生部長に対して)

●県立医療大学の大学院設置については兼ねてより必要性を訴えてきましたが、このほど平成十三年開学が見込めることとなりました。

●教育行政について(川俣教育長に対して)

◇学級崩壊と家庭教育について

◇今学校に求められているもの

●警察行政について(堀県警本部長に対して)

◇交通安全対策の推進について

◇ハイテク犯罪への対応について

第一回定例県議会はきのうから一般質問に入った。現在の議事堂での議会も今定例会が最後。トッポを切って登壇した小川一成氏は先人達が二十九年の歴史の中で、熱き論戦を展開してきた議場に想いを馳せながら質問を始めた。

執行部からいくつかが踏み込んだ答弁を引き出した後、再登壇して「交通安全対策にお金を使わないのは優先順位を間違えているのではないか」と厳しく指摘。更に教育問題では「三十年、四十年前の子供はもういないのに、学校の教育観だけは変わっていない。一番変化を学ばなければいけないのは学校だ」となどと生活者の視点に立った要望を述べ、「在民」のスタンスを強調した。(平成十一年二月二十五日、茨城新聞)

一期四年の間に県政をリードして様々な提言をし、一つ一つ実現してきた小川一成氏。昨年は一期生ながら土木副委員長を任せられ、今期はスタートから農林水産副委員長を務めています。これからは県政界を代表する論客の一人として大いに期待したいと思えます。

常磐新線の守谷駅の

町の施設整備も同様に支援

二月十八日(三月十五日)まで開かれた第一回定例会議の論議を...

アーカス構想

小川アーカス構想は、その目的は、早急な結果を求め、...

「懇談会の検討踏まえ」事業の継続要望に知事

小川次、常磐新線について、企画部長にお尋ねします。

常磐新線

このため、私は、アーカス構想は、早急な結果を求め、...



第1回定例会

常磐新線には幾つかの橋梁がありますが、中で...

小川一成氏(守谷町出)が一般質問



執行部から踏み込んだ答弁を引き出した小川氏

町執行部です。このように、町は事業計画として、千部工事を、千部工事を、千部工事を...

利根川新年度には一部着工

利根川新年度には一部着工。橋梁は、利根川本川部の約九百メートルを、千部工事を、千部工事を...

県立医療大学の役割

医療技術者の養成目的の平成七年に開学した。この三月に初めて卒業生を送り出す。

高度医療専門職養成へ 13年度に 附属病院では増床

小川次、県立医療大学についてお尋ねします。附属病院では増床。13年度に大学院開設。

西暦2000年問題

小川次、コンピュータ問題について、企画部長にお尋ねします。西暦2000年問題について、...

危機対応に万全期す

高田企画部長、まず、本県では既に平成八年から、危機対応に万全期す。危機対応に万全期す。

の財政負担を軽減すべく、事業に付随する家屋移転用地の確保、守谷町の所有している鉄道用地の買戻しなどの支援を...

学級崩壊

小川次、教育問題について、教育長にお尋ねします。学級崩壊について、...

教育行政

県としても見過ごすことのできない問題だと思っております。

学級崩壊と家庭教育

児童生徒が授業中に勝手に机をたたいたり、本を投げたり、歩き回ったりして授業が成立しない状況が全国的に発生している。

家庭教育は、基本的な人形成のための大切な役割を担っている。家庭教育は、基本的な人形成のための大切な役割を担っている。

家庭教育は、基本的な人形成のための大切な役割を担っている。家庭教育は、基本的な人形成のための大切な役割を担っている。